

社協の役割は社会資源を繋ぎ支援体制を作ること～市町村社協トップセミナー～



【講演中の牧里氏】

8月22日(木)、KKRホテル熊本で、「平成25年度市町村社協トップセミナー」が熊本県市町村社協連合会の主催により開催され、市町村社協の役職員等139名が参加しました。

セミナーでは、緒方孝雄連合会副会長の挨拶の後、「これからの地域福祉の推進と社会福祉協議会への期待」と題して、日本地域福祉学会会長で、関西学院大学人間福祉学部長・教授 牧里毎治(まささとつねじ)氏による講演がありました。

牧里氏は講演の中で、社協の特徴は社会福祉法に明記された、市区町村に一つという地域型の社会福祉法人であることや地域の代表と当事者、行政、ボランティア、専門職、企業等で構成される組織であることなどであり、多様な事業に取り組む可能性を持っていることを説明されました。

また、仕事の仕方や家族のあり方が変化する中で、地域社会と職域社会が離れてしまったことや地域でのコミュニケーションが減少したことにより、無縁社会が進んでいることに触れ、地域と職域をつなぐための住民の「居場所」と「出番」を作ることが必要であると述べられました。

さらに、大阪府豊中市の事例を通して、ホームレスや引きこもりの人など、地域社会と行政サービスから抜け落ちる人びとや制度の谷間にいる人たちを支えるために、行政と民間組織をはじめ、様々な社会資源を繋ぎ、支援体制を作ることが社協の役割であることを強調されました。

最後に、今後の取り組みとして、社協と一緒に活動してくれる人を集めて事業を展開するとともに、地域にある資源を開発して財産へと変えていくことが重要であるとまとめられ、今後の社協活動に多くの示唆をいただきました。



【熱心に受講する参加者】

地域福祉活動のあり方について学ぶ ～民生委員児童委員協議会会長研修会～

市町村民生委員児童委員協議会会長研修会が、8月1日(木)～2日(金)の両日、八代市のセレクトロイヤル八代(旧:八代ロイヤルホテル)で、熊本県民生委員児童委員協議会と県社協の共催により、104名が参加して開催されました。

今年度は、「民生委員児童委員の地域福祉活動のあり方」をテーマとして開催され、1日目に大分大学教育福祉科学部教授の衣笠一茂氏から「地域福祉と民生委員活動」と題し、人として寄り添うことの大切さを、多くの事例を交えて分かりやすく講演いただいた後、「子どもが抱える課題への取り組み」「見守り模擬訓練を通じた関係機関との連携」「サロン活動等高齢者への支援活動」の3つの分科会に分かれ、各会において講演や事例発表、意見交換等がなされました。

続いての意見交換会は、熊本県副知事の小野泰輔氏や八代市長の福島和敏氏をはじめ、多くのご来賓をお迎えして開催され、来賓席の前には、日頃の福祉活動で生じた質問や要望を述べるための長い列ができるなど、和やかな中にも熱心な交流がなされていました。

2日目は「関係機関等と連携して推進する地域福祉活動のあり方」をテーマとした全体会が衣笠教授のコーディネートで行われ、各座長から分科会の報告がなされた後、活発な意見が交わされました。

今年12月には3年に一度の一斉改選が行われることから、今年が最後の参加となる単位民児協会長も多くなか、民生委員・児童委員が推進する地域福祉活動を次の世代にしっかり繋げていこうという意気込みが溢れた、有意義な研修となりました。



【挨拶をされる小野副知事】



【熱心な討議が行われた全体会の様子】

多様化する貸付ニーズにむけて～平成25年度市町村社協生活福祉資金相談員等会議～

平成25年度市町村社協生活福祉資金相談員等会議を8月2日(金)、熊本県総合福祉センターで開催しました。

本会議は昨今の厳しい雇用情勢から多様化する相談者のニーズに対応するため、各市町村社協の生活福祉資金貸付業務の相談員(担当者)等を対象に、生活福祉資金の制度や実務について説明を行い、各担当者間において意見交換を行う目的で毎年開催しています。



【 会議の様子 】

近年、貸付件数は落ち着きが見られていますが、窓口寄せられる相談内容は、より複雑化しており、その支援においては生活福祉資金貸付だけでなく、様々な社会資源との連携が一層必要とされています。

そのような背景から、今年度は貸付について相談支援を行う際の基本的な事項に焦点を当て、総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金等の各資金の取扱実務や償還(返済)における支援の在り方などについて説明を行い、参加した39社協76名の各市町村社協相談員も熱心に耳を傾けていました。

社会福祉振興基金の助成先決まる ～民間福祉団体・小規模団体～

平成25年度社会福祉振興基金の助成金交付が、次のとおり決定しました。

1 民間福祉団体活動への助成

	団 名	事 業 名
1	公益社団法人熊本県老人クラブ連合会	友愛活動活性化研修事業
2	熊本県天声会	熊本県天声会創立50周年記念事業
3	身体障がい者アーチェリークラブ火の国	障がい者アーチェリー体験教室
4	一般財団法人 熊本県ろう者福祉協会	熊本県内における高齢聴覚障害者の情報・コミュニケーション調査
5	ママそら☆くまもと	ママと子どもが輝くLOVE MINDセミナー
6	熊本県難聴者中途失聴者協会	聞こえのサポーター講座

2 小規模団体活動支援事業への助成

	市町村名	団 体 名	事 業 内 容
1	熊本市	特定非営利活動法人自立応援団 就労支援センターくまもと	作業場の整備事業
2	八代市	社会福祉法人 麦の会 まんさく園	授産製品の宣伝の為のノートパソコン導入事業
3	玉名市	社会福祉法人きらきら 就労支援センターほし	授産活動における機器整備事業
4	玉名市	社会福祉法人若葉会 若葉作業所	惣菜食品製造販売事業
5	天草市	特定非営利活動法人やじろべえ	利用者の屋内作業の充実の為のパソコン導入事業
6	天草市	NPO法人ワークショップひなたぼっこ	空き缶つぶし機の活用
7	菊池市	NPO法人 夢のかげら舎	障がい者就労支援事業の為かき氷機・冷蔵庫導入
8	菊池市	NPO法人ふくとく	作業場の環境整備・スロープ付近の塗装整備
9	美里町	特定非営利活動法人中央自立支援会 いぶき	食品加工(ハム・ソーセージ)の加工生産営業販売
10	嘉島町	NPO法人くまもとライフボード	樹木・雑草の剪定と除草作業
11	山都町	NPO法人エッグス 地域活動支援センタースクランブル	作業機材の購入
12	相良町	社会福祉法人ひまわり会 やまびこ	椎茸(菌床)栽培

一般社団法人 熊本県庁友会様から寄付金をいただきました。



8月14日(水)、本会事務局で、一般社団法人熊本県庁友会様から昨年に引き続き、寄付金をいただきました。

ご寄付いただきました浄財は、社会福祉振興基金に積み立て、民間の福祉団体やボランティア活動の支援、社会福祉事業の振興などに有効に活用させていただきます。ありがとうございました。

各課トピックス

* お問合せは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p>◆ホームページ「バナー広告」の募集◆ 本会ホームページでのバナー広告を募集しています。 広告の位置：本会ホームページの下部 広告の枠数：最大8枠 広告の規格：大きさ 縦50ピクセル×横146ピクセル 広告掲載料：1か月あたり5,000円 掲載希望期間：1か月単位で、最長12か月まで 詳細やお申込みについては、本会ホームページまたは総務課までお問い合わせください。</p>	<p>◆熊本見守り応援隊・見守り模擬訓練を実施します◆ 本年度は、以下の2ヵ所において模擬訓練が実施されます。是非、見学にお越しください。 ○氷川町民生委員児童委員協議会 日時：9月29日(日)13:30～ 場所：氷川町文化センター ○荒尾市民生委員児童委員協議会連合会 日時：10月25日(金)13:30～ 場所：荒尾総合文化センター</p> 
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-324-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p>◆社会福祉法人会計実務研修会のご案内◆ 日時及び対象(新会計基準) ①10月15日(火)【これから移行される事業所】 ②11月11日(月)【移行後で生産活動なしの事業所】 ③11月20日(水)【移行後で生産活動ありの事業所】 場所・時間 KKRホテル熊本 13:30～16:30 講師 公認会計士 立石 和裕 氏 ※開催日程により内容、対象施設(事業所)が異なります。 ※詳細はお送りしております開催要項をご覧ください。</p>	<p>◆教育支援資金就学支度費受付のご案内◆ 来年度に入学を予定されている方の就学の際に必要な支度費用の申込みについては、次のとおり取扱います。推薦入学等で早期に入学金が必要となる場合は早めのお申し込みをお勧めください。なお、既に支払った費用は対象となりません。 受付締切：入学する月の前月15日まで 要件：日本学生支援機構等他奨学金を申込みこと 他 ※教育支援費は、原則入学の2月前から受け付けます。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p>◆介護就職面接会を開催します◆ 45歳以上の求職者を対象とした面接会を開催します。 日時 9月18日(水)14:00～15:50 会場 県総合福祉センター 5階「研修ホール」 申込期限 9月13日(金) 定員30名程度(先着順) 申込方法 参加申込書を担当窓口へ提出 担当窓口 ハローワーク熊本 福祉人材コーナー (TEL. 096-371-8610)もしくは、本センターに問い合わせください。</p>	<p>◆成年後見制度利用促進研修会を開催します◆ 成年後見制度利用促進に向け、関係機関の役割とその連携のあり方について共通理解の促進を図ることを目的に、熊本県との共催で実施します。 日時 11月8日(金) 9:30～16:30 会場 熊本市火の君文化センター 申込期限 10月18日(金)定員300名 対象者 市町村行政、地域包括支援センター、指定相談支援事業所、市町村社協、社会福祉施設(高齢・障害)</p>
ボランティアセンター	ご案内
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	<p>◆9月は「老人の日・老人週間(月間)」◆ 9月15日が「老人の日」、同月21日までの1週間を「老人週間」と平成13年の老人福祉法の改正で定められています。 今年の標語は、「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」です。各事業所におかれましては、期間中の啓発や各種行事の実施など広報周知活動にご協力をお願いいたします。</p> 
<p>◆「くまモン」クリアファイルで日本一運動を啓発!◆</p>  <p>ボランティア活動をする「くまモン」と「火の国ボランティアの星®」をコラボレーションしたクリアファイルを作成しました。(1千枚限定、非売品) 本会からの文書等の発送や、主催する研修・会議の資料配布の際などに使用して、ボランティア活動日本一推進運動の啓発を図ります。</p>	